

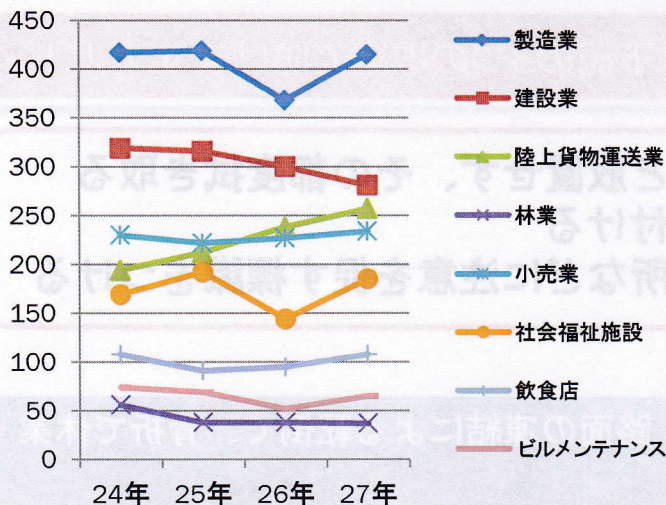
# STOP！転倒災害

2月は転倒災害防止強調月間  
～冬季の転倒災害防止対策～

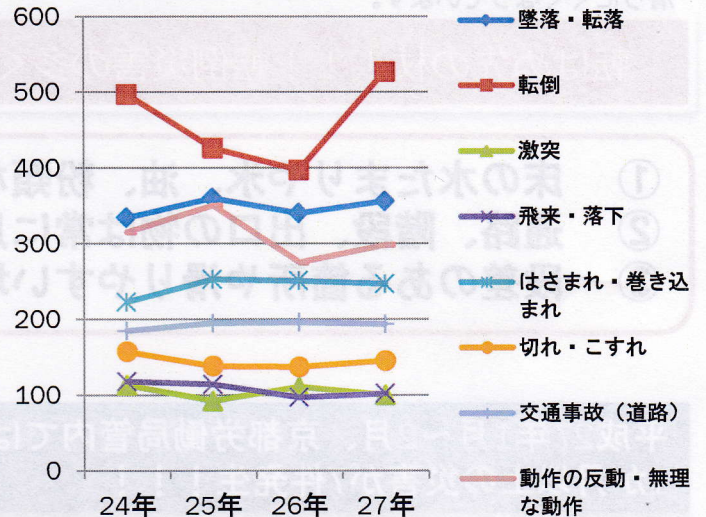
京都府内の平成27年の休業4日以上死傷者数（以下「死傷者数」という。）は、平成27年12月末速報値において、**2190人**と前年同期と比較して**9.4%増加**。

特に「**転倒**」を原因とする死傷者数が増加しており、転倒災害による死傷者数は、全産業で**527人**（前年同期**32.7%増**）、業種別では、**製造業90人**（前年同期**66.6%増**）、**小売業82人**（前年同期比較**15.5%増**）、**社会福祉施設58人**（前年同期比較**93.3%増**）の増加が顕著です。

業種別死傷者数（12月末速報値比較）



事故型別死傷者数（12月末速報値比較）



資料：京都労働局労働者死傷病報告

転倒災害が増加した、製造業・小売業・社会福祉施設で報告のあった転倒災害のうち、骨折による休業1か月以上の重篤な災害の、床・通路等での転倒原因を分析したところ、3割が、床・通路等の「濡れ等・汚れ」を原因として発生。

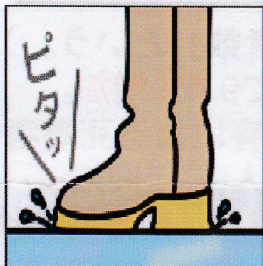
## 災害事例

- 廊下通行中、清掃後の床に残った水分に足を滑らせ転倒(50台男性・右手骨折・休業1か月) → **清掃時の水分はきれいに拭き取り乾燥させる**
- モップで清掃作業中濡れた床で足が滑り転倒(60台女性・手首骨折・休業2か月) → **床を濡らす清掃方法の改善・清掃作業時の靴の工夫**
- バックヤードで床に落ちていた肉片を踏んで滑って転んだ(50台女性・右手首骨折休業1か月) → **床の汚れはすみやかに拭き取る**

## 転倒災害防止対策のポイント

### 設備管理面の対策 4S（整理・整頓・清掃・清潔）

- ◆ 歩行場所に物を放置しない
- ◆ 床面の汚れ（水、油、粉等）を取り除く
- ◆ 床面の凹凸、段差等の解消



柔らかいゴムを使った靴底は、路面に対する密着力が強いため滑りにくくなっています。

### 転倒しにくい作業方法 あせらない 急ぐ時ほど落ち着いて

- ◆ 時間に余裕を持って行動
- ◆ 滑りやすい場所では小さな歩幅で歩行
- ◆ 足元が見えにくい状態で作業しない

### その他の対策

- ◆ 作業に適した靴の着用
- ◆ 職場の危険マップの作成による危険情報の共有
- ◆ 転倒危険場所にステッカー等で注意喚起


### <靴選びの3つのポイント>

- ◆ 防滑性：靴底が滑りにくいこと  
（やわらかいゴム底のものはゴムのすり減りも要確認）
- ◆ 撥水性・防水性：水分が靴の中に入り込まないこと
- ◆ 保温性：靴の中を温かく保てること
- ◆ このほかにも、靴の重量やバランス・屈曲性・つま先の高さもポイント

転ばぬ先の杖！！！！転倒災害の多くは下記の3つの取組で防げます！！！！

- ① 床の水たまりや氷、油、粉類など放置せず、その都度拭き取る
- ② 通路、階段、出口の物は常に片付ける
- ③ 段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつける

平成27年1月～2月、京都労働局管内では、路面の凍結による転倒で、骨折で休業1か月以上の災害が7件発生！！！！

業種	災害の発生状況
自動車製造業	 <p>会社の事務所から駐車場へ向かう途中に、凍結した路面に足を滑らせ転倒し、尻もちをついた。</p>
ケガの程度	
休業1カ月	
対策のポイント	

- 敷地内の通路を除雪する、融雪剤を散布する
- 雪道や凍結路面に適した滑りにくい靴を履く
- 足元が見えにくい箇所は照明を設置して注意を促す
- 身体を強打しないよう、クッション性のある帽子・衣類を着用する

### 冬期の転倒災害防止対策のポイント

- 積雪・凍結などの転倒災害に対して
- ◆ 天気予報に気を配る
  - ◆ 時間に余裕をもって歩行
  - ◆ 駐車場の除雪・融雪は万全に
  - ◆ 職場の危険マップの作成、適切な履物、歩行方法などの教育を行う